

## 平成29年度事業

### 〈概要〉

平成29（2017）年は、會津八一芸術の舞台裏や本県と縁のある人たちの作品、あるいは同時代の文化人たちとの交流にも焦点を当てた展示を計画した。八一の多面的業績を広い世代に興味関心を抱かせるような企画を展開していきたい。

秋の特別展は、近年、海外で禅画がブームとなり、国内でも大規模な展覧会が行われてきたが、會津八一記念館では、姉妹協定を結ぶ早稲田大学會津八一記念博物館所蔵の富岡重憲コレクションを中心に、禅をテーマにした展覧会を企画する。富岡コレクションは、糸魚川市出身で日本重化学工業株式会社の初代社長富岡重憲（1896～1979）が永年にわたって収集した陶磁器、書画を中心に構成されている。なかでも白隠慧鶴筆《すたすた坊主》など、近世禅書画の一級品を収蔵するコレクションとして知られる。それらの名品と八一の書いた禅書画を、隣接のいがた文化の記憶館フロアも借用して展示する、いわば里帰り展である。

春の企画展では、書人・八一に焦点を当て、制作の準備で使用したノートブックや下書きなどを展示し、個性豊かな八一書の制作過程を紹介する。夏は、五泉出身の歌人で八一の中学時代の後輩・式場麻青（1883～1933）の遺族から寄贈を受けた、麻青旧蔵の會津八一、麻青作品と書簡等をお披露目し、八一と麻青の交流から二人が関わった、明治・大正期の新潟の文芸に対する啓蒙活動も紹介する。冬は、八一の歌の弟子・歌人吉野秀雄（1902～1967）没後50年を記念して、関係者から寄贈を受けた吉野作品をお披露目する展示を企画。併せて第11回写真コンテスト入賞入選作品展を開催する。

普及活動では、①往復書簡集「雁魚来往」（出版社、古書店関係者）第5集の刊行②写真コンテスト全国巡回展③京都・東寺の八一歌碑建立などを企画。また、他団体による八一の奈良歌をもとにした狂言「大仏くらべ」の絵本の出版も協力していきたい。

また、学生の修学旅行での奈良・會津八一の歌碑めぐりが一層拡大するように、県内の中学、高校への働きかけを増やしていきたい。

### 〈事業計画の内容〉

#### （ア）展覧会事業 開館日数 277日

	分類	展覧会名（仮称）	会期	内容
1	企画展	書人・會津八一 その制作の現場	4月4日（火） ～7月2日（日） 79日間	會津八一の書は、一見、自由奔放にみられるが、実は、厳格で精密な制作を試みている。彼は徹底した準備と、たゆまぬ努力で制作に挑んでおり、その痕跡といえる細かな資料も残されている。当館が所蔵する名品や、残されたノートブックなどを手掛かりに、彼の制作の手順、創作の秘密を、様々な角度から解き明かしていく。
2	企画展	新収蔵・式場麻青コレクション 文学青年 ～八一と麻青～	7月11日（火） ～9月24日（日） 66日間	平成26年に寄贈された五泉出身の歌人式場麻青（八一の中学時代の後輩）旧蔵の會津八一作品、書簡等のお披露目展。八一の俳句や麻青の短歌、二人が関わった新潟の文芸に対する啓蒙活動も紹介する。また、八一が入村家で発見した小林一茶の「六番日

				記」を展示し、一茶の俳句に影響を受けた八一が、麻青に一茶論を述べるほど私淑していた点も紹介したい。
3	特別展	「禅」 早稲田大学會津八一記念博物館、富岡コレクションを中心に	10月6日(金) ～12月10日(日) 57日間	姉妹協定を結ぶ早稲田大学會津八一記念博物館にある富岡重憲コレクションを中心に、禅をテーマにした展覧会。白隠慧鶴筆《すたすた坊主》など、近世禅書画の一級品を収蔵するコレクションとして知られ、糸魚川市出身で日本重化学工業株式会社の初代社長富岡重憲が永年にわたって蒐集した陶磁器、書画を中心に構成されている。それらの名品と八一の書いた禅書画を合わせて公開する。
4	企画展	吉野秀雄没後50年記念 濁れる歌 v s 清澄な歌 ～斎藤茂吉・吉野秀雄と會津八一～	12月22日(金) ～2018年 3月25日(日) 75日間	平成28年に寄贈を受けた歌人吉野秀雄(八一と師弟関係にある)の作品資料のお披露目展。短歌を通じて30年来、師弟の間柄だった。吉野は、八一の歌の声調の美しさ、奈良を詠った短歌の幽玄の美に惹かれた。一方で茂吉を尊敬し、茂吉の歌にも影響を受けた。同時代に活躍した3人の人物や短歌の世界を紹介する。

展示替え、研修のための休館日	7/3～7/10	8日間
	9/25～10/5	11日間
	12/11～21	11日間
作品解説会	常設展・企画展	期間中 月2回(第2、4日曜日) 午前11時
	特別展	期間中 毎週土曜、日曜日 午前11時

(イ)イベント ※交渉予定も含む

<講演会>

八一祭記念文芸講演会 講師：泉田玉堂師(大徳寺松源院老師)  
演題：「會津先生書、禅語『林下十年夢 湖邊一笑新』(仮題)  
日時：平成29年8月1日(火)午後2時～3時半  
会場：メディアシップ 日報ホール  
定員：250名

特別展記念文芸講演会 講師：早稲田大学會津八一記念博物館の推薦者など 交渉予定  
演題：「富岡コレクションについて」（仮題）  
日時：平成29年10月  
会場：メディアシップ 日報ホール  
定員：250名

文芸講演会① 講師：杭迫柏樹氏（書家・日展会員）  
演題：「書家から見た會津八一の魅力」（仮題）  
日時：平成29年5月25日（木）  
会場：メディアシップ 日報ホール  
定員：250名

文芸講演会② 講師：和泉久子氏（当記念館評議員、鶴見大学名誉教授）  
演題：未定  
日時：平成29年7月14、あるいは21日（予定）  
会場：メディアシップ内  
定員：未定

文芸講演会③ 講師：小池光氏（仙台文学館館長） 交渉予定  
演題：「會津八一と斎藤茂吉と吉野秀雄」について（仮称）  
日時：平成30年2月または3月（予定）  
会場：メディアシップ 日報ホール（予定）  
定員：150名

#### (ウ) 八一往復書簡集「雁魚来往」第5集の刊行

出版・古書店関係者（養徳社、佐久間書店、中央公論社、秋春社）らと會津八一との往復書簡の読み下し文、註釈、関連資料図版を掲載。

#### (エ) 「會津八一の歌を映す」第11回秋艸道人賞写真コンテスト

公募ポスターと応募要項の制作と発送（平成29年4月中）

- ① 審査・結果発表（平成29年12月上旬）
- ② 表彰式：平成30年1月下旬または2月

#### (オ) 京都・東寺の八一歌碑建立

#### (カ) 学習講座（会費で充当）

會津八一の歌を読む会 「かまづかの会」

講師：若月忠信氏（文芸評論家）

日時：毎月第1土曜日 午後1時30分～3時

会場：砂丘館

#### (キ) 鑑定会 春秋2回を予定

春の部

日時：平成29年6月4日（日）午後1時～3時

会場：會津八一記念館

#### (ク) 旅行企画（参加者負担）時期は未定

會津八一の足跡を訪ねる旅を計画

(ケ)アウトリーチ活動

- ・4月に會津八一の作品を所蔵しているところ、あるいは団体鑑賞でよく記念館を利用している学校や公民館などに働きかけ案内を送り、依頼のあるところから実施

(コ) 他団体との関連イベント

○「會津八一の歌を映す」写真コンテスト巡回展

・早稲田大学會津八一記念博物館	4月1日～22日	入賞作品 7点
・奈良県立図書情報館	6月1日～18日	入賞入選 30点
・いかるがホール（奈良県斑鳩町）	6月22日～30日	入賞作品 7点
・中村屋サロン美術館	7月15日～8月6日	入選入賞 30点
・三千院(京都市左京区大原)	秋(3週間程度)	入賞作品 7点
・胎内市中央公民館(中条會津八一会)	11月上旬	入賞入選 30点

○狂言「大仏くらべ」絵本の出版